



子どもたちを指導する藤田さん(右から2人目)

スポーツの秋 満喫

市カーニバルに1100人来場

親子連れ 20競技体験

20競技以上のスポーツが体験できる「やわたスポーツカーニバル2021」を10月23日、市民スポーツ公園・市民体育館で開催し、親子連れなど約1100人が来場しました。



①スケートボードを体験する子どもたち
②チュークボールを楽しむ子どもたち



会場では、千葉ロッテマリーンズなどで活躍した元プロ野球選手で、八幡市出身の藤田宗一さんによる野球教室も実施。参加者たちは、藤田さんから「投げる方向に向かってグローブの方向を作る」などの指導を受けながら、キャッチボールなどを楽しみました。

ほかに、ネットに投げて跳ね返ったボールを守備側がキャッチする「チュークボール」などのニュースポーツ体験も行われ、来場者たちはいろいろなスポーツを体験しながら、その魅力に触れていました。

野球教室に参加した正本奏和くん(9)は「めっちゃ楽しかった。やっぱりプロ野球選手はすごいと思った」と話していました。



外国人(左から3人目)を迎えて模範授業を行う受講者たち

住みよいまちに国境なし

8月より開講していた日本語指導ボランティア養成講座(全8回)の最終回が10月9日、文化センターで行われ、24人の受講者が全課程を修了しました。

日本語指導ボランティア 24人修了

本講座は、近年、技能実習生を中心に増加している外国人住民の日本語学習を支援する人材を養成しようと、府内際センターと市が共催。府内日本語教室の活動支援を行う京都にほんでRingsから講師を招いて実施しました。

この日は、市内日本語教室「世界はテマン」に通う外国人6人を迎えて模範授業を実施。動詞を「してください」と言い換える表現、「大きい」「長い」などの形容詞の使い方などを身ぶり手ぶりを交えて説明したり、外国人からの質問に答えたりしながら、日本語指導の技術を高めていました。

講座を修了した受講者は、今後、地域の日本語教室などでボランティアとして活動する予定です。

荒木桃子さん(31)は、「本格的、実践的な内容を学ぶことができて、自信になりました」と笑顔で話していました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

Eボートで宇治川下り

Eボートでの川下りと地域の魅力を体感できる「とっておき体験」を組み合わせた八幡コースのツアーが10月9日に行われ、参加者25人が宇治川の自然や八幡の文化などを満喫しました。

舟運で繋がっている宇治市、京都市伏見区、八幡市の魅力を宇治川の川下りと組み合わせると、3市などが企画・協力し、株式会社アオキカヌーワークスが主催。

八幡コースでは、伏見区の三栖閘門から淀川河川公

3市協力 自然や文化体験ツアー

園背割堤地区までEボートで川下り。参加者はパドルを漕いでゆっくり進みながら、周りの眺めを楽しみました。

八幡に到着後は、「走井餅」実演とお抹茶体験、橋本街歩きと旅館見学の2コースに分かれ、八幡の魅力を体感していました。

親子で参加した鈴木政子さん(45)、雄太くん(10)は「川下りは雄大で、鳥のさえずりも聞こえて、自然を感じることができました」と話していました。



宇治川をEボートで下りながら、川沿いの眺めを楽しむ参加者

今月のこの人 BMXパーク種目で初優勝



おくぎき ともか 奥崎 朝香さん

勢いよくBMXバイクをこいでジャンプ台から高く飛び出し、空中で体と車体を一緒に横一回転する「360(スリーシックスティ)」を繰り返す。技が決まるたび、会場のボルテージは最高潮に――。

父・純さんの影響で3歳からバイクに乗り始め、この1年半で本格的な練習を始めた朝香さん。「技が決まったときがうれしい」とBMXの魅力を話します。

岡山県で開催された本大会で

は、東京2020オリンピックにも採用されたパーク種目に出場。パーク種目は、ジャンプ台などを利用して、空中でさまざまな技を披露する競技。繰り返す技の数が他の選手より少なく不安がありました。技の完成度の高さでポイントを重ね、初優勝をつかみ

ました。今年のオリンピックにも出場した「中村輪夢選手みたいにエアの高い選手になりたい」と話す朝香さん。さらにその先の「オリンピックに出て、金メダルを獲りたい」という夢に向かい、これからも技に磨きをかけます。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体等を紹介していきます。自薦・他薦問わず、紹介希望者を募集していますので、詳しくは、市ホームページをご覧ください。秘書広報課へお問合せください。